

# 第17回心血管カテーテル治療専門医 新規申請（2025）マニュアル

申請期間：7月12日（金）～8月12日（月）

申請方法：資格申請システムより全データアップロード

※Google Chromeでの閲覧を推奨しています。  
ブラウザのバージョンは、いずれも最新版を利用してください。

## ■ 申請の概要

申請の流れ	p.3
新規申請条件	p.4
提出内容	p.6
教育セミナー44 講座、合併症対策に関する特別講座の受講について	p.7
CVIT 会員システムログイン後操作手順	p.8

## ■ 提出書類

心血管カテーテル治療専門医新規申請書	p.11
在籍証明書	p.12
日本循環器学会認定循環器専門医証	p.13
指導にあたった本学会代議員、専門医、名誉専門医、 施設群指導医1名の推薦状	p.14
症例登録誓約書（レジストリー）参加登録宣誓書	p.15
施設年数換算表	p.16
研究業績の提出	p.18

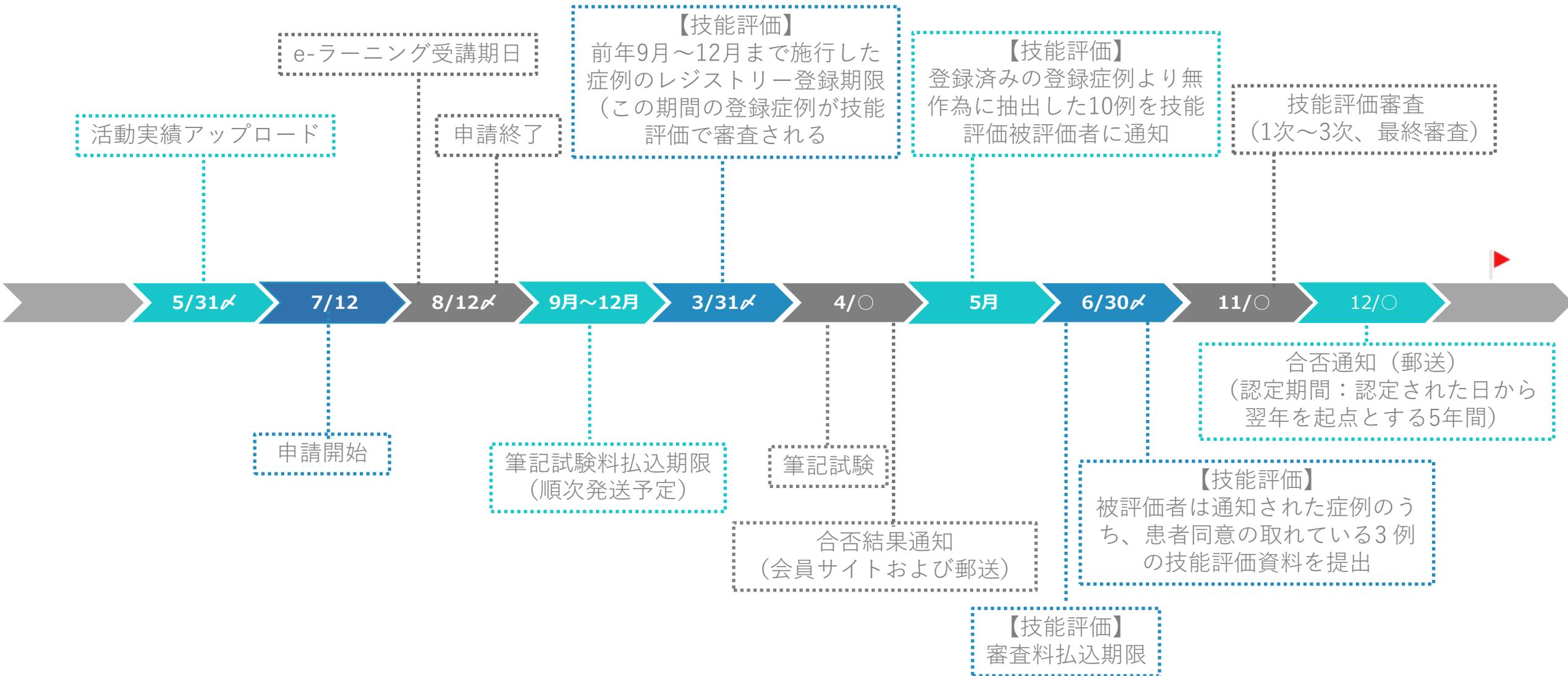
## ■ カテーテル治療実績の登録

集計期間の選択	p.20
NCDへのアクセス認証	p.23
治療実績の集計	p.24
治療実績の提出	p.26
提出書類（任意）	p.29
研修カリキュラムの提出	p.30
判定と症例提出	p.32

## ■ 申請書の提出・受付

申請書の提出・差し替え	p.33
申請前の注意事項	p.34
申請書の提出	p.35
申請書受付	p.36

# 申請の流れ



## CVIT専門医認定医制度本則（第4章）より抜粋

### ■心血管カテーテル治療専門医の受験資格

第12条 心血管カテーテル治療専門医の受験資格は以下の通りとする。

①研修歴として、認定医取得後、原則として申請前年12月末日までに、審議会が認める以下の施設に在籍し、通算3年以上の研修期間を満たし、本学会研修カリキュラムを達成した医師であること。

- ↳ 本学会研修施設および研修関連施設
  - ・研修施設群の連携施設（研修施設群の運用のための細則参照）
  - ・本学会研修施設および研修関連施設、研修施設群連携施設でない施設での在籍期間は、2020年12月末日までは、2/5と算定し研修歴として認める。2021年以降は、研修歴として認めない

②治療経験として、申請前年12月末日までに、主術者としての冠動脈形成術300例の治療経験があること。治療経験は、本学会レジストリー登録制度が開始された2010年11月以降の治療経験であり、認定医取得後の200例または通算300例でJ-PCI、J-EVT/SHDもしくは外科領域レジストリーに登録された症例のみとする。その300例とは、冠動脈形成術250例を必須とし、この他本則第2条（心血管カテーテル治療の定義）に定められているカテーテル治療経験を50例まで含めてよい。※1

※1 ※2 2022年以降の認定医新規申請者より適用

## CVIT専門医認定医制度本則（第4章）より抜粋

### ■心血管カテーテル治療専門医の受験資格

第12条 心血管カテーテル治療専門医の受験資格は以下の通りとする。

- ④審議会が主催する教育セミナー全講座を修了していること。
- ⑤2021年心血管カテーテル治療専門医新規申請より、新研修カリキュラムの履修、および合併症対策に関する特別講座の受講（eラーニング）を必須とする。
- ⑥日本循環器学会認定循環器専門医の資格があり、十分な指導能力があること。
- ⑦本学会、本学会地方会、本学会誌での心血管カテーテル治療に関する研究業績が3つ以上あること。
- ⑧指導にあたった本学会心血管カテーテル治療専門医、名誉専門医、研修施設群指導医のいずれか1名の推薦があること
- ⑨J-PCIレジストリーに参加し、施行した症例の全例登録を行っていること。
- ⑩日本の医師免許を持ち、海外のPCIトレーニングコースを終了し、その国のPCI専門医に認定された医師は、審議会での承認をもって受験資格を認める。

- ① 心血管カテーテル治療専門医新規申請書
- ② 在籍証明書
- ③ 日本循環器学会認定循環器専門医証
- ④ 心血管カテーテル治療専門医、名誉専門医、施設群指導医 推薦状
- ⑤ 症例登録事業(レジストリー)参加登録宣誓書
- ⑥ 施設年数換算表
- ⑦ 研究業績 3つ (活動実績事前登録システム受理分より選択)
  - └ 本学会、本学会地方会、本学会誌での心血管カテーテル治療に関する研究業績が3つ以上あること。
- ⑧ カテーテル治療経験数 (主術者としてのPCI 300例分またはJ-EVT/SHD症例を提出する場合はPCI 250例 およびEVT、SHD50例分)
- ⑨ 新研修カリキュラム達成度評価表

## 受講期限：2025年8月12日（火）23:59 厳守

※申請後に未受講がある場合、一切の救済なく、申請は棄却いたします。

前頁①～⑨の他に、以下の**受講が必須**です。他学会と連携する新専門医制度に向けた教育カリキュラムに基づくものです。

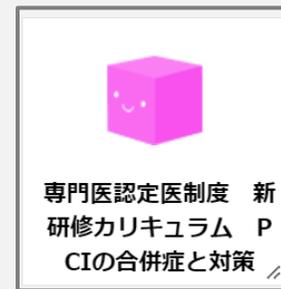
- ・「専門医認定医制度審議会が主催する教育セミナー全講座を修了していること(教育セミナー全44講座)」
- ・「合併症対策に関する特別講座の受講（eラーニング/新研修カリキュラム PCIの合併症と対策）」

以下の受講ボックス内の講座を全て受講修了していることが必須です。

### ■e-ラーニング受講（e-ラーニングシステム内、該当するアイコンより受講をお願いいたします）



専門医認定医制度審議会が主催する  
教育セミナー全講座を修了していること  
(教育セミナー全44講座)



合併症対策に関する特別講座の受講  
(eラーニング/新研修カリキュラム  
PCIの合併症と対策)

※e-ラーニングは以下URLをご参照のうえ、会員専用ページへログインして受講をお願いします。

操作方法につきましては、e-ラーニング操作マニュアルをご確認ください。<http://www.cvit.jp/specialty-system/e-learning.html>

# CVIT会員システムログイン後操作手順①

【2025年6月2日以降、最新の認定情報が正しく表示されている方】

メニュー

会員情報      学会活動      認定医・専門医・  
名誉専門医・ITE      学会情報・論文

基本情報      資格申請  
請求・支払情報      審査  
**資格情報**      レジストリー登録症例確認  
役員経歴      委員会経歴      配信情報

お知らせ  
会報  
議事録  
会員規定  
基本情報

資格情報 一覧

資格 (認定区分)	認定番号	認定日	認定期間 (自)	認定期間 (至)	留保等	操作
認定医 (更新)	F10005	2018-01-01	2023-01-01	2027-12-31	いいえ	<a href="#">詳細</a>

認定医 ～2027-12-31

**資格更新**  
認定医更新申請(2027)  
申請期間外

単位の取得状況  
学会参加・発表・論文単位  
ライブデモンストレーション単位  
放射線防護講習会単位  
医療安全・倫理講習会単位

**新規・その他申請**  
認定医留保申請(2027)  
申請期間外

【新規】第17回 心血管カテーテル治療専門医新規申請(2025)  
[申請](#)

第18回 専門医新規申請(2026)  
申請期間外

認定資格に基づき、更新申請ページが表示されます。  
申請受付期間中に【申請】ボタンを押下し、  
手続き開始してください。

※申請受付期間になると申請ボタンが表示されます

更新申請の年に手続き可能な申請種類が表示されます。  
必要に応じて、【申請】ボタンを押下し、  
手続き開始してください。

# CVIT会員システムログイン後操作手順②

【2025年6月2日以降、認定情報が未表示または過去認定情報までの場合】

メニュー

**会員情報**  
基本情報  
請求・支払情報  
資格情報  
役員経歴  
委員会経歴

**学会活動**  
活動実績  
回答依頼

**認定医・専門医  
名誉専門医・ITE**  
資格申請  
審査  
レジストリー登録症例確認

議事録  
会員規定  
英文誌 (SpringerLink)  
和文誌  
抄録集

認定医・専門医・名誉専門医・ITE 資格申請 一覧 検索条件...

◀ 先頭 | ◀ 前へ 1~9/9件中 次へ ▶ | ▶ 末尾 ▶

名称

資格申請を開始する

開始する資格申請を選択してください。

- 【新規】 第17回 認定医新規申請(2025)
- 【更新】 認定医更新申請(2024)
- 【留保】 認定医更新留保申請(2024)
- 【新規】 第17回 心血管カテーテル治療専門医新規申請(2025)
- 【更新】 心血管カテーテル治療専門医更新申請(2024)
- 【留保】 心血管カテーテル治療専門医更新留保申請(2024)
- 【移行】 名誉専門医移行申請(2024)
- 【更新】 名誉専門医更新申請(2024)
- 【留保】 名誉専門医更新留保申請(2024)

① 「資格申請」を選択

② 「資格申請を開始する」を押下

③ 開始する資格申請を選択

資格申請はご自身の資格情報に紐づけされておきませんので、本年の申請受付を行っている資格が全て表示されます。  
該当の申請のみを選択し、申請を開始してください。

# CVIT会員システムログイン後操作手順③

申請 (提出中)

申請対象 [ ]

申請期間 [ ]

ステータス 提出中

提出物	提出項目	ステータス	操作
	心血管カテーテル治療専門医 新規申請書	未提出	詳細
	在籍証明書	未提出	詳細
	日本循環器学会認定循環器専門医証	未提出	詳細
	推薦状	未提出	詳細
	症例登録事業(レジストリー)参加登録宣誓書	未提出	詳細
	施設年数換算表	未提出	詳細
	研究業績1	未提出	詳細
	研究業績2	未提出	詳細
	研究業績3	未提出	詳細
	カテーテル治療実績および新研修カリキュラム達成度評価表	未提出	詳細

提出項目	ステータス	操作
心血管カテーテル治療専門医 新規申請書	未提出	詳細
在籍証明書	未提出	詳細
日本循環器学会認定循環器専門医証	未提出	詳細
推薦状	未提出	詳細
症例登録事業(レジストリー)参加登録宣誓書	未提出	詳細
施設年数換算表	未提出	詳細
研究業績1	未提出	詳細
研究業績2	未提出	詳細
研究業績3	未提出	詳細
カテーテル治療実績および新研修カリキュラム達成度評価表	未提出	詳細

連絡事項

※事務局へ連絡事項がありましたら  
こちらへ入力し、【連絡事項を保存する】を  
クリックしてください。

連絡事項を保存する

未提出の項目があります。

資格申請 一覧へ戻る

この申請を中止する



ステータスの初期表示は「未提出」です

①未提出 ②提出済 ③不足

のいずれかが表示されるようになっています

提出項目ごとに「詳細」を選択し、  
申請書類のダウンロードと、アップロードを行ってください

※この時「Ctrl + クリック」で別タブが開きます

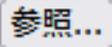
申請を中止したい場合は、【この申請を中止する】を  
クリックしてください。

## 専門医新規申請 心血管カテーテル治療専門医 新規申請書 (未提出)

- 顔写真は筆記試験当日に本人確認を行う際に必要なため、不鮮明な写真は不備です。
- 申請日は忘れずに記入してください。
- 医籍番号は必ず医師免許証をご確認の上、記入してください。
- 所属先名・所属先住所・所属先電話番号・自宅住所・自宅電話番号・メールアドレスは、会員情報に登録の情報をご記入ください。
- 会員情報の変更がある場合、必ず手続きを行ってください。

記入様式  ダウンロード

① 申請書類のダウンロード 

提出書類  ファイル

② 申請書類に必要事項を入力後、PDFに加工しアップロード

※差し替えは何度でも可能です

※一度更新するとアップロードしたPDFが確認できません

PDFファイルを提出してアップロード可能なファイルは、再度アップロードした場合、お手元の回線状況によっては「フォームの有効期限が切れています」エラーが表示される場合があります。お手数をおかけいたしますが、有線のインターネット接続環境等、十分な通信速度が得られる環境でお試ください。

提出する

③ 【提出する】をクリック



専門医新規申請 日本循環器学会認定循環器専門医証 (未提出)

- 認定期間が有効な認定証のPDFファイルをアップロードしてください。
- 認定期限切れの認定証は不備です。

記入様式 [ダウンロード](#)

提出書類 [参照...](#) ファイルが選択されています

PDFファイルを提出してください。アップロード可能なファイルのサイズは10MB以内です。再度アップロードした場合、上書き保存されます。お手元の回線状況によっては「フリーズ」状態になる場合があります。お手数をおかけいたしますが、有線のインターネット接続環境等、十分な通信速度が得られる環境でお試してください。

[提出する](#)

① ダウンロードすると、日本循環器学会認定循環器専門医証（PDF）の作成方法（例示）がダウンロードされます。

② PDFをアップロード  
この操作で何度でも差替えは可能です  
一度更新するとアップロードしたPDFが確認できます

③ 【提出する】をクリック

専門医新規申請 推薦状 (未提出)

- 推薦者の自署もしくは記名（自署以外の印字やゴム印など）の場合は押印が必須です。
- 推薦者の心血管カテーテル治療専門医、名誉専門医の場合の認定番号は間違いなく記載いただくように申請者自身が確認をお願いいたします。
- [心血管カテーテル治療専門医の確認はこちら](#)
- [名誉専門医の確認はこちら](#)

---

記入様式  ダウンロード ① 申請書類のダウンロード 

提出書類 参照...  ② 申請書類に必要事項を入力後、PDFに加工しアップロード  
PDFファイルを提出してアップロード可能なファイルを選択し、再度アップロードした場合、  
※差し替えは何度でも可能です  
※一度更新するとアップロードしたPDFが確認できます

お手元の回線状況によっては「フォームの有効期限が切れています」エラーが表示される場合があります。お手数をおかけいたしますが、有線のインターネット接続環境等、十分な通信速度が得られる環境でお試ください。

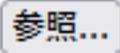
提出する ③ 【提出する】をクリック

## 専門医新規申請 症例登録事業(レジストリー)参加登録宣誓書 (未提出)

- 申請時に在籍している施設の証明を取得してください。
- NCD診療科長氏名は自署もしくは記名（自署以外の印字やゴム印など）の場合は押印が必須です。
- 申請者自身がNCD診療科長の場合は本人の自署でも問題ございません。

記入様式  ダウンロード

① 申請書類のダウンロード 

提出書類  ファイルアップロード  
PDFファイルを提出して  
アップロード可能なファ  
再度アップロードした場

② 申請書類に必要事項を入力後、**PDF**に加工しアップロード

※差し替えは何度でも可能です

※一度更新するとアップロードしたPDFが確認できます

お手元の回線状況によっては「フォームの有効期限が切れています」エラーが表示される場合があります。  
お手数をおかけいたしますが、有線のインターネット接続環境等、十分な通信速度が得られる環境でお試しく  
ださい。

提出する

③ 【提出する】をクリック

専門医新規申請
施設年数換算表 (未提出)

2020年12月末日をもちまして、専門医受験申請条件である【研修歴の2/5に換算による救済措置】が終了いたしました。2021年1月以降、研修施設・研修関連施設および施設群連携施設にご在籍でない専攻医（認定医）の先生は、在籍年数をカウントすることができませんので、ご注意ください。

- 研修施設群連携施設の専攻医（認定医）は「施設年数換算表」と「専攻医研修歴通知書」を結合して、1つのPDFファイルとしてアップロードしてください。  
※研修施設・研修関連施設に在籍の場合、「専攻医研修歴通知書」の発行はありません。
- 施設年数換算表に研修施設群施設での研修期間を含めてご申請いただいた場合は、審議会承認を得た期間かどうかを確認の上、期間を査定する場合がございますので、予めご了承ください。
- 研修施設・研修関連施設の認定期間は、記入様式よりExcelをダウンロードいただき、「(リスト) 研修施設 研修関連施設」をご確認ください。

---

記入様式 ダウンロード

提出書類 参照... ファイルを選択してアップロードしてください。PDFファイルは提出してアップロード可能なファイル形式です。一度アップロードした場合は再度アップロードした場合、お手元の回線状況によってお手続きをおかけいたしますが、有線のインターネット接続環境等、十分な通信速度が得られる環境でお試してください。

**① 申請書類のダウンロード**

**② 申請書類に必要事項を入力後、PDFに加工しアップロード**  
 ※差し替えは何度でも可能です  
 ※一度更新するとアップロードしたPDFが確認できます

**③ 【提出する】をクリック**

提出する

専門医新規申請 施設年数換算表 (未提出)

2020年12月末日をもちまして、専門医受験申請条件である【研修歴の2/5に換算による救済措置】が終了いたしました。2021年1月以降、研修施設・研修関連施設および施設年数換算表の提出ができませんので、ご注意ください。

- 研修施設群連携施設の専攻医取得に際しては、施設年数換算表を提出してください。  
※研修施設・研修関連施設に在籍している施設年数換算表を提出してください。
- 施設年数換算表に研修施設群連携施設がございましたら、予めご確認をお願いします。
- 研修施設・研修関連施設の提出が完了した場合は、施設年数換算表を提出してください。

記入欄

提出欄

CVIT

一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会  
CVIT 研修施設認定・施設群小委員会  
委員長 川井 和樹  
CVIT 専門医認定区制度審議会  
委員長 上巻 謙

①施設年数換算表と併せて単一のPDFを作成してからアップロードしてください。

「研修施設群連携施設」をご確認ください。

表示される場合があります。  
速度が得られる環境でお試しく

年研修施設群専攻医研修歴通知書

の期間、CVIT(日本心血管インターベンション治療学会)研修施設群連携施設に在籍し、心血管カテーテル治療専門医取得のための教育を受け、専門医受験資格に有効な研修歴として認める。

提出する

## 研究実績：必須事項

本学会、本学会地方会、本学会誌での心血管カテーテル治療に関する研究業績が3つ以上あること

## 申請直前までの発表分の取り扱い

申請直前までの会合で発表を終えているものをご提出可としております。

※申請された場合は、必ず [senmoni@cvit.jp](mailto:senmoni@cvit.jp) 宛にご連絡をお願いいたします。

# 研究業績の提出

研究業績1 (未提出)

提出済みの研究業績  
未提出です。

**①研究業績提出1~3の画面で、【操作】から【提出する】をクリックしてください。**

研究業績の提出

種別	主催者	名称	操作
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の5例について E 研究会(日本)	提出する
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の6例について F 研究会(日本)	提出する
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の2例について B 研究会(日本)	提出する
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の3例について C 研究会(日本)	提出する
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の4例について D 研究会(日本)	提出する
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の1例について A 研究会(日本)	提出する
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の7例について G 研究会(日本)	提出する
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の8例について H 研究会(日本)	提出する
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の9例について I 研究会(日本)	提出する
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の10例について J 研究会(日本)	提出する

0)へ戻る

**②専門医新規申請へ戻り、続けて研究業績を提出してください。**

研究業績の提出

種別	主催者	名称	操作
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の5例について E 研究会(日本)	提出する
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の6例について F 研究会(日本)	提出済
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の2例について B 研究会(日本)	提出済
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の3例について C 研究会(日本)	提出する
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の4例について D 研究会(日本)	提出する
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の1例について A 研究会(日本)	提出する
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の7例について G 研究会(日本)	提出する
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の8例について H 研究会(日本)	提出する
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の9例について I 研究会(日本)	提出済
発表(本学会 総会)	日本心血管インターベンション治療学会	ある時の10例について J 研究会(日本)	提出する

提出内容を変更したい場合は、  
変更したい研究業績をクリックしてください

## カテーテル治療実績および新研修カリキュラム達成度評価表 (未提出) 集計期間選択

専門医新規申請は以下の2通りのいずれかの基準により審査されます。

- a) 認定医認定日～申請前年末日までの治療実績**200**例
- b) 2010年11月以降の治療経験通算**300**例

上記いずれかを選択してください。

- a)の場合は集計期間の開始日にご自身の認定医認定日を入力して治療実績を集計
- b)の場合は日付は変更せずに治療実績を集計してください。

[認定医認定日の確認はこちらから](#)

以下のいずれかを選択してください。

- a) 認定医認定日～申請前年末日までの治療実績**200**例
- b) 2010年11月以降の治療経験通算**300**例

認定医認定日～申請前年末日

2010年11月～申請前年末日

専門医新規申請 カテーテル治療実績および新研修カリキュラム達成度評価表 (未提出) 治療実績集計

専門医新規申請は以下の2通りのいずれかの基準により審査されます。

a) 認定医認定日～申請前年末日までの治療実績200例  
b) 2010年11月以降の治療経験通算300例

上記いずれかを選択してください。

a)の場合は集計期間の開始日にご自身の認定医認定日を入力して治療実績を集計してください。  
b)の場合は日付は変更せずに治療実績を集計してください。

[認定医認定日の確認はこちらから](#)

集計期間 認定医認定日～申請前年末日

開始日

終了日 2024-12-31

ご自身の「認定医認定日」を入力

【治療実績を集計する】をクリック  
NCDとの認証開始

治療実績を集計する

CVIT領域レジストリー以外に登録された症例は自動集計の対象ではありませんので、チャーターまたは印刷し電子媒体に保存したデータの提出が必要です。

専門医新規申請 | カテーテル治療実績および新研修カリキュラム達成度評価表 (未提出) 治療実績集計

専門医新規申請は以下の2通りのいずれかの基準により審査されます。

a) 認定医認定日～申請前年末日までの治療実績200例  
b) 2010年11月以降の治療経験通算300例

上記いずれかを選択してください。

a)の場合は集計期間の開始日にご自身の認定医認定日を入力して治療実績を集計してください。  
b)の場合は日付は変更せずに治療実績を集計してください。

[認定医認定日の確認はこちらから](#)

---

集計期間 2010年11月～申請前年末日

開始日	2010-11-01	⊞
終了日	2024-12-31	⊞

CVIT領域レジストリー以外に登録された症例は自動集計の対象ではありませんので、資料チャーターまたは印刷し電子媒体に保存したデータの提出が必要です。

治療実績を集計する

集計期間が自動反映されますので、  
入力不要です。

【治療実績を集計する】をクリック  
NCDとの認証開始

22



## CVIT 資格申請

一般社団法人National Clinical Database

認証 NCDへのアクセスを認証するため、下記の本人確認情報を入力してください。

**CVIT事務局からの重要なお知らせ**

入力した医籍登録番号によって登録症例を検索・集計し、当学会に提出頂きます。

**CHECK!**

以下の場合、申請手続きが大幅に遅れますので、ご注意ください。

- ・学会に登録した医籍番号に誤りがある場合：CVIT会員情報の変更手続きが必要
- ・NCDに登録した医籍番号に誤りがある場合：NCD登録症例の修正手続きが必要

必ず医師免許証をお手元に、正しい医籍番号を入力してください。

ご従い除名処分となる場

例修正希望の連絡両方が

氏名 川内 真美 **手入力**

生年月日  **手入力**

医籍登録番号  **手入力**

**必ず**  上記の医籍登録番号が相違なく私、川内 真美の医師免許証に記載されたものであることを誓約します。  
万が一、誤った医籍登録番号を入力していた場合、意図的に虚偽の申請を行なったとみなされ、資格申請の取消、資格の喪失、学会からの除名などいかなる措置にも異議の申し立ては行いません。

**実行**

- NCDレジストリー登録において、CVIT領域の「J-PCI」、「J-EVT/SHD」に登録された完了（承認済）の症例を自動集計しております。
- CVIT領域レジストリー以外に登録された症例は自動集計の対象ではありませんので、資格申請時に該当のレジストリー登録画面のキャプチャーまたは印刷し電子媒体に保存したデータの提出が必要です。
- レジストリー登録は、UMINからNCDへ登録システムが移行しております。  
そのため、PCI 2012年以前、EVT/SHD 2013年以前 の症例(UMIN登録)は施設・診療科・患者背景が表示されません。
- UMINの登録時にあった項目でも、現在は他学会領域に移管となったために検索できない領域があります。  
会員が登録した全ての領域の症例数が確認できるものではありませんので、予めご了承ください。  
例：TAVI、ステントグラフト等（NCD外科領域レジストリー）
- 治療集計一覧において、「分類不可」に含まれる症例は以下のとおりです。
  - >UMIN登録症例にてCVIT領域以外で登録されていた症例（現在NCD登録対象外）
  - >NCD登録症例にて「その他（SHD）」を選択された症例（現在の入力項目対象外）


CVIT 資格申請
一般社団法人National Clinical Database

治療実績集計

医籍登録番号

集計期間

	手技分類	主術者	指導 介助
PCI			6
EVT	EVT (シャントPTAを除く)		1
	EVT (シャントPTA)		0
SHD	TAVI / BAV		0
	心房中隔欠損閉鎖術		0
	経皮的中隔心筋焼灼術 (PT SMA)		0
	経カテーテル肺動脈治療		0
	動脈管開存 (PDA)		0
	慢性血栓性肺動脈狭窄症に対するバルーン肺動脈形成術 (BPA)		0
	僧帽弁閉鎖不全症		0
	経皮的VSP閉鎖		0
	経皮的冠動静脈閉鎖術		0
	経皮的LAA閉鎖術		0
	潜因性脳梗塞に対する経皮的卵円孔開存閉鎖術 (PFO)		0
	僧帽弁置換術後弁周囲逆流 (PVL)		0
	PTMC (僧帽弁)		0
	(分類不可)		0

- NCDに登録された症例のうち、ステータスが完了(承認済)の症例のみが集計されます。
- 直近の登録・変更は即時反映されず、反映に数日かかる場合がございます。
- 施行数と登録数に大きく差異がある場合等は、必ず施行施設の診療科長および登録担当者へ登録状況のご確認をお願いいたします。
- 集計結果が0件または明らかに実際と差異がある場合、まずご自身の医籍登録番号を再確認いただいたうえで、施行施設の登録担当者に対象のNCD登録症例がご自身の医籍登録番号で術者登録されていることをご確認ください。
- NCD登録症例に誤りがあった場合、訂正の可否については [こちら](#)からお問い合わせください。

治療実績を提出する

症例一覧を確認する

NCDとの認証が終わると、レジストリーに登録した症例数が表示されます。

以下の表示項目に誤りが無いことを確認し、画面最下部の 治療実績を提出する をクリックしてください



- 医籍登録番号
- 集計期間 (aまたはb)
- 主術者の症例数

# カテーテル治療実績の登録 | ④-1 治療実績を提出する

専門医新規申請 | カテーテル治療実績および新研修カリキュラム達成度評価表 (未提出)

本ページでは、「カテーテル治療実績」と「新研修カリキュラム達成度評価表」を提出いただけます。画面が非常に長くなっており、下部の「提出する」ボタンを押下するまで申請を進めてください。なお、「カテーテル治療実績」と「新研修カリキュラム達成度評価表」の両方を提出することで、「合計/規定数:判定」の症例数が集計されます。いずれかの操作がない場合、正しく集計されませんので、ご注意ください。

**【申請条件/本則抜粋】**

治療経験として、申請前年12月末日までに、主術者としての冠動脈形成術300例の治療経験があること。治療経験は、本学会レジストリー登録制度が開始された2010年11月以降の治療経験であり、認定医取得後の200例または通算300例でJ-PCI、J-EVT/SHDもしくは外科領域レジストリーに登録された症例のみとする。その300例とは、冠動脈形成術250例を必須とし、この他本則第2条（心血管カテーテル治療の定義）に定められているカテーテル治療経験を50例まで含めてよい。

**【J-PCIレジストリー登録の症例で申請する場合】**

自動集計の症例数をご確認いただき、申請条件を充足されていたら、提出してください。

- 申請前年末日 [ ] までの登録症例が有効
- J-PCIレジストリー登録症例：自動集計（入力ステータス「完了(承認済)」の症例のみ）
- EVT/SHDの主術者は提出不要
- レジストリー未登録症例は申請対象外
- 症例数の手入力は申請対象外
- PCIおよびEVT/SHD指導的介助者は申請対象外

**【J-PCIとJ-EVT/SHDレジストリー登録症例を提出する場合】**

J-PCIレジストリー登録症例（自動集計）で症例数が充足できない場合、J-EVT/SHDレジストリー登録症例を上限50例（外科領域レジストリーも含めて）まで申請することができます。施行症例数を手入力欄に入力してください。

- 申請前年末日 [ ] までの登録症例が有効
- J-PCIレジストリー登録症例：自動集計（入力ステータス「完了(承認済)」の症例のみ）
- J-EVT/SHDレジストリー登録症例：自動集計（入力ステータス「完了(承認済)」の症例のみ）
- レジストリー未登録症例は申請対象外
- PCIおよびEVT症例数の手入力申請対象外
- PCIおよびEVT/SHD指導的介助者は申請対象外

**【外科領域レジストリーを申請する場合】**

J-PCIとJ-EVT/SHDレジストリー登録症例（自動集計）で症例数が充足できない場合、外科領域レジストリーに登録した症例を上限50例（J-EVT/SHDレジストリーも含めて）を申請することができます。施行症例数を手入力欄に入力してください。

- 申請前年末日 [ ] までの登録症例が有効
- 本学会、心血管カテーテル治療の定義には含まれる外科領域レジストリーに登録されている「大動脈ステントグラフト、Structural Intervention（構造的インターベンション）、小児先天性心疾患に対するインターベンション」症例であること
- ※各々のレジストリー登録画面のキャプチャー提出が必要です。

★自動集計の対象：J-PCI、J-EVT/SHDレジストリー登録症例「完了(承認済)」ステータスのみ

## < 注意事項を必ずご確認ください >

申請条件、申請方法をご確認ください。

申請に有効な症例は、2010年11月以降の治療経験であり、レジストリー登録された症例のみです。

専門医新規申請( | カテーテル治療実績および新研修カリキュラム達成度評価表 (未提出) 集計期間選択

専門医新規申請は以下の2通りのいずれかの基準により審査されます。

a) 認定医認定日～申請前年末日までの治療実績200例  
b) 2010年11月以降の治療経験通算300例

上記いずれかを選択してください。

a)の場合は集計期間の開始日にご自身の認定医認定日を入力して治療実績を集計してください。  
b)の場合は日付は変更せずに治療実績を集計してください。

[認定医認定日の確認はこちらから](#)

認定医認定日～申請前年末日

2010年11月～申請前年末日

集計期間  
登録症例提出日時

入会日～申請前年末日

レジストリー登録症例を再提出する

「レジストリー登録症例を再提出する」をクリックすると、集計期間の選択画面に戻ることができます。集計期間の入力に誤りがある場合、こちらから修正を行ってください。

# カテーテル治療実績の登録 | ④-2レジストリー登録の症例で申請する場合

術式分類		主術者			指導的介助者		
		集計値	入力	事務局	集計値	入力	事務局
PCI				0			
EVT	EVT(シャントPTAを除く)		入力 NG	0			
	EVT(シャントPTA)			0			
SHD	1 TAVI / BAV		<input type="text" value="5"/>	0			
	2 心房中隔欠損閉鎖術		<input type="text" value="1"/>	0			
	3 経皮的中隔心筋焼灼術 (PTSMA)		<input type="text" value="2"/>	0			
	4 経カテーテル肺動脈弁治療		<input type="text" value="0"/>	0			
	5 動脈管開存 (PDA)		<input type="text" value="0"/>	0			
	6 慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するバルーン肺動脈形成術 (BPA)		<input type="text" value="0"/>	0			
	7 僧帽弁閉鎖不全症		<input type="text" value="0"/>	0			
	8 経皮的VSP閉鎖		<input type="text" value="0"/>	0			
	9 経皮的冠動静脈瘻閉鎖術		<input type="text" value="0"/>	0			
	10 経皮的LAA閉鎖術		<input type="text" value="0"/>	0			
	11 潜因性脳梗塞に対する経皮的卵円孔開存閉鎖術 (PFO)		<input type="text" value="0"/>	0			
	12 僧帽弁置換術後弁周囲逆流 (PVL)		<input type="text" value="0"/>	0			
	13 PTMC (僧帽弁)		<input type="text" value="0"/>	0			
		(分類不可)					
施設群指導医							

症例数をご確認ください

自動集計

外科領域レジストリーを申請する場合のみ、症例数を入力してください。

術式分類	主術者			指導的介助者		
	集計値	入力	事務局	集計値	入力	事務局
PCI	自動 集計	入力 NG	0			

2010年～2012年までは、UMIN登録症例が自動的に反映されますが、UMINの登録で「術者不明：00000」と入力した症例は反映されませんので、CVIT事務局（senmoni@cvit.jp）にご連絡ください。

## 外科領域レジストリーに登録した症例を申請する場合

以下の書類を提出してください

### 外科領域レジストリー

「外科領域レジストリー」を申請する  
ルに作成してからアップロードして

ファイルが選択されていま

### その他

CVIT事務局より、症例に関する指定  
書類がない場合は不要です。

ファイルが選択されていま

①  をクリックし、PDFファイルをアップロードしてください

※この操作で何度でも差替えは可能です

※書類が複数枚ある場合、1つのPDFに結合してからアップロードしてください

③ 提出するPDFのアップロード後、 をクリックし、  
症例数の再集計を行ってください。

保存して再計算する



## 研修カリキュラム

**申請する症例の研修カリキュラム達成度評価を提出してください。**

- 研修カリキュラムの履修についてご確認ください。
- 達成目標Cについて、「見学・研修・シミュレーションで経験」いただき、知識を得ることができれば達成の評価としてください。
- 推薦状の推薦者と新研修カリキュラムの指導医が異なる場合も提出いただけます。
- 研修施設群制度を利用して指導を受けた専攻医（認定医）は研修施設群eCasebookの研修カリキュラム達成度評価表をPDFに変換して提出いただいても問題ございません。
- 新研修カリキュラム達成度評価表は以下より書式をダウンロードしてください。

### PCI:新研修カリキュラム達成度評価表（提出必須）

研修内容の全項目は履修と達成が必須です。

達成度評価は全ページを単一のPDFを作成してから提出してください。

- 新研修カリキュラム（2021年専門医新規申請者より適用）
- 新研修カリキュラム 達成度評価表（2021年専門医新規申請者より適用）

### EVT:新研修カリキュラム達成度評価表

EVT症例を申請に含める場合、研修内容の全項目は履修と達成が必須です。

EVT版の達成度評価は全ページを単一のPDFを作成してから提出してください。

- 新EVT研修カリキュラム（2022年専門医新規申請者より適用）
- 新EVT研修カリキュラム 達成度評価表（2022年専門医新規申請者より適用）

### SHD：新研修カリキュラム達成度評価

SHD症例を申請に含める場合、SHD版の「研修開始・修了年月日のページ」と「該当分野の達成度評価」を単一のPDFを作成してから提出してください。

- 新SHD研修カリキュラム（2022年専門医新規申請者より適用）
- 新SHD研修カリキュラム 達成度評価表（2022年専門医新規申請者より適用）

申請条件、申請方法をご確認ください

## 症例数の表示

自動集計の症例数が表示されております。  
達成度評価表を提出することで表示色が変更されます。

- 緑：「合計/定数:判定」集計対象
- 赤：「合計/定数:判定」集計対象外

※症例申請に使用される場合は必ず達成評価表を提出し、緑であることを確認してください。  
使用されない場合は達成評価表の提出は不要です。赤のまま提出してください。

術式分類		症例数
PCI	参照... ファイルが選択されていません。 提出済 (PCI研修カリキュラム達成度評価表.pdf) <input type="checkbox"/> 削除する	240
	EVT	参照... ファイルが選択されていません。 提出済 (EVT新研修カリキュラム達成度評価表.pdf) <input type="checkbox"/> 削除する
SHD	1 TAVI / BAV 参照... ファイルが選択されていません。 提出済 (shd_curriculum_achievement_evaluation_chart.pdf) <input type="checkbox"/> 削除する	5
	2 心房中隔欠損閉鎖術 参照... ファイルが選択されていません。 提出済 (shd_curriculum_achievement_evaluation_chart.pdf) <input type="checkbox"/> 削除する	1
	3 経皮的中隔心筋焼灼術 (PTSMA) 参照... ファイルが選択されていません。	2

参照...

をクリックし、PDFファイルをアップロードしてください

※この操作で何度でも差替えは可能です

※書類が複数枚ある場合、1つのPDFに結合してからアップロードしてください

提出するPDFのアップロード後、

保存して再計算する

を

クリックし、症例数の再集計を行ってください。

※再計算を行わないと判定できない仕様となっておりますので、  
ご注意ください。

保存して再計算する

## 判定基準は以下の条件です。

- a) 認定医認定日～申請前年末日までの治療実績200例
  - b) 2010年11月以降の治療経験通算300例
- ※その他症例数は、「J-EVT/SHDレジストリー登録症例」および「外科領域レジストリー」を合わせて上限50例とする

PCI症例数 240例  
(研修カリキュラム提出済) (0例となる場合はPCIの研修カリキュラムをアップロード)

その他症例数 46例  
(研修カリキュラム提出済) (合計46例に対し上限50例が適用されます)

合計 / 規定数 : 判定 **286 / 200 例 : 充足**

提出する

## < 合計値の表示 >

※治療実績が基準を下回る場合、

合計 / 規定数 : 判定 12 / 100 例 : 不足

CHECK!

と表示されます。

全ての入力終了したら画面最下部の **提出する** をクリックし、申請を行ってください。

万が一、誤った内容で「提出する」をクリックしてしまった場合、提出内容を修正後、**提出データを更新する** をクリックし、再申請を行ってください。

- レジストリー登録症例および提出した外科領域レジストリーに登録した症例の合計が表示されます。
- 「合計 / 規定数 : 判定」は選択した申請条件で判定されます。

## 申請書の提出

各提出項目で書類をアップロード後、  
**提出する** をクリックし、「〇〇を提出しました」と表示されると、データは正しく受け付けられたこととなります



## 申請書の差し替え

一度アップロードした申請書を差し替えたい場合には、提出書類で差し替えたいデータを選択し直し、  
**【提出データを更新する】** をクリックしてください



申請する

をクリックすると、データの修正・差し替えは一切できませんのでご注意ください。



- ・データの差し替えなどがある場合は、絶対に【申請する】をクリックしないでください
- ・提出書類として、問題がないことを十分に確認した後、【申請する】をクリックしてください

【申請する】をクリックしないまま申請期日を迎えた場合は、  
一切の救済なく、申請は「棄却」とさせていただきます。

# 申請書の提出

提出物	提出項目 摘要	ステータス	操作
	心血管カテーテル治療専門医 新規申請書	✔ 提出済	詳細
	在籍証明書	✔ 提出済	詳細
	日本循環器学会認定循環器専門医証	✔ 提出済	詳細
	推薦状	✔ 提出済	詳細
	症例登録事業(レジストリー)参加登録宣誓書	✔ 提出済	詳細
	施設年数換算表	✔ 提出済	詳細
	研究業績1	✔ 提出済	詳細
	研究業績2	✔ 提出済	詳細
	研究業績3	✔ 提出済	詳細
	カテーテル治療実績および新研修カリキュラム達成度評価表	✔ 提出済	詳細

不足している項目があります。

申請中は登録内容の修正を受け付けません。  
上記の内容を必ずご確認のうえ申請ください。

申請する

資格申請 一覧へ戻る

この申請を中止する

申請する

・何らかの理由により、ステータスが【不足】になっている状態でも、申請を受け付けることは可能です

・ステータスが【不足】となっているまま【申請する】をクリックしてください

・但し、事務局と事前に連絡を取り、事務局が把握しているケースの場合のみ、審査対象といたします

・データの差し替えなどがある場合は、絶対に【申請する】ボタンを押さないでください

申請しました。

(申請中)

申請対象

申請期間

ステータス 申請中

提出物

摘要	ステータス	操作
心血管カテーテル治療専門医 新規申請書	提出済	詳細
在籍証明書	提出済	詳細
日本循環器学会認定循環器専門医証	提出済	詳細
推薦状	提出済	詳細
症例登録事業(レジストリー)参加登録宣誓書	提出済	詳細
施設年数換算表	提出済	詳細

申請ステータス「申請中」になるまで操作をお願いいたします。  
申請受付終了後、「提出中」ステータスのままの場合、  
申請は受付できません。  
※一切の救済はなく、申請は「棄却」とさせていただきます。

これで心血管カテーテル治療専門医新規申請が終了です。  
申請ステータス「受付・再提出・棄却」のいずれかに変更があった場合、[no-reply.cvit@architector.jp](mailto:no-reply.cvit@architector.jp) より、会員情報に  
登録のメールアドレス宛に送付されます。本文詳細はメール文に記載のURLをクリックし、必ず確認してください。